



平成17年3月期 第3四半期 連結決算の概要

【第3四半期】（12月31日に終了した3ヶ月間）

	平成17年3月期 第3四半期 自平成16年10月1日 至平成16年12月31日	平成16年3月期 第3四半期 自平成15年10月1日 至平成15年12月31日	前年 同期比
売上高	百万円 56,136	百万円 26,836	% 209.2
営業利益	百万円 5,639	百万円 9,058	% -
経常利益	百万円 3,768	百万円 9,272	% -
当期純利益	百万円 3,387	百万円 9,758	% -
1株当り当期純利益	円 42.38	円 154.29	% -
潜在株式調整後 1株当り当期純利益	円 41.77	円 -	% -

【9ヶ月間累計】（12月31日に終了した9ヶ月間）

	平成17年3月期 第3四半期 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日	平成16年3月期 第3四半期 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日	前年 同期比
売上高	百万円 156,298	百万円 68,236	% 229.1
営業利益	百万円 13,974	百万円 26,735	% -
経常利益	百万円 10,610	百万円 26,694	% -
当期純利益	百万円 9,890	百万円 27,356	% -
1株当り当期純利益	円 141.86	円 584.57	% -
潜在株式調整後 1株当り当期純利益	円 139.51	円 -	% -

	平成16年12月31日 現在	平成16年9月30日 現在	当中間 期比
総資産	百万円 453,938	百万円 348,620	% 130.2
株主資本	百万円 196,832	百万円 87,689	% 224.5

(注) 発表数値は、未監査。

平成16年3月19日付で株式1株につき20株の株式分割を行っており、平成16年3月期第3四半期の1株当り当期純利益は、期首に株式分割が行われたものとして計算しております。



平成 17年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結) 平成 17年 1月 24日

上場会社名 エルピーダメモリ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6665

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.elpida.com/ja/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 坂本 幸雄

問合せ先責任者 役職名 執行役員・CAO 氏名 萩原 俊明

TEL (03) 3281 - 1500 (代)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17年 3 月第 3 四半期連結業績 (平成 16年 4 月 1 日 ~ 平成 16年 12 月 31 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満は四捨五入表示)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年 3 月期 第 3 四半期	156,298		13,974		10,610	
16年 3 月期 第 3 四半期	68,236		26,735		26,694	
(参考) 16年 3 月期	100,441		26,439		25,460	

	当期純利益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益		潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
17年 3 月期 第 3 四半期	9,890		141	86	139	51
16年 3 月期 第 3 四半期	27,356		584	57	-	-
(参考) 16年 3 月期	26,865		524	36	-	-

(注) 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

平成16年3月19日付で株式1株につき20株の株式分割を行っており、平成16年3月期第3四半期の1株当り当期純利益は、期首に株式分割が行われたものとして計算しております。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

(百万円未満は四捨五入表示)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株 当 たり 株 主 資 本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年 3 月期 第 3 四半期	453,938	196,832	43.4	2,040	47
16年 3 月期 第 3 四半期	269,040	80,642	30.0	1,248	04
(参考) 16年 3 月期	300,599	81,055	27.0	905	68

(注) 平成16年3月19日付で株式1株につき20株の株式分割を行っており、平成16年3月期第3四半期の1株当り当期純利益は、期首に株式分割が行われたものとして計算しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(百万円未満は四捨五入表示)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年 3 月期 第 3 四半期	13,924	110,627	151,059	164,719
16年 3 月期 第 3 四半期	27,900	20,173	119,098	74,886
(参考) 16年 3 月期	31,247	50,865	188,789	110,555

3. 平成17年 3 月期の連結業績予想 (平成 16年 4 月 1 日 ~ 平成 17年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	211,000 ~ 214,000	12,700 ~ 16,700	12,000 ~ 16,000

(参考) 1株当り予想当期純利益 (通期) 157 円 22 銭 ~ 209 円 63 銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と大幅に異なる場合があります。業績予想の前提となる想定等につきましては、定性的情報の項をご参照ください。

経営成績

(1) 当四半期の概要

当四半期（平成16年10-12月）において、米国経済は個人消費や設備投資がテンポを減速させつつも底堅く推移したほか、中国経済は輸出と設備投資に支えられ高い成長が続きました。

わが国経済においては、全体としては緩やかな成長が持続したものの、デジタル家電分野での在庫調整の動きや円高等の減速要因も見られました。

当社関連市場では、国内デジタル家電及び携帯電話市場で在庫調整の動きがあり、当社が注力するプレミアムDRAM^(注1)も一部その影響を受けました。しかしながら、デジタル家電機器向け及び携帯電話向けのDRAM市場は、拡大期の入り口にあり、前年同期比でその需要は大幅に増加しました。

このような状況のもと、当四半期における当社の連結売上高は、前年同期比109.2%増（約2.1倍）の56,136百万円となりました。

営業利益は5,639百万円となり、前年同期9,058百万円の損失から14,697百万円改善しました。これは、生産能力増強による増収と原価低減等によるものです。

経常利益は3,768百万円となり、前年同期9,272百万円の損失から13,040百万円改善しました。支払利息が前年同期比686百万円増加したこと、円高により為替差損が前年同期比698百万円増加したことにより営業利益の増益幅を圧縮しました。

当期純利益は3,387百万円となり、前年同期9,758百万円の損失から13,145百万円改善しました。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてにおいて前年同期に比べ著しく改善し、増収増益を達成いたしました。

当社は、プレミアムDRAM^(注1)のさらなる需要拡大に対応するため300mm工場第二棟の建設促進と第一棟の生産能力増強を進めております。この計画に必要な資金を調達するため11月に東京証券取引所に新規上場いたしました。上場時に行った新株発行により1,058億円の資金を確保し、財務基盤を強化したことで、当社の成長戦略をより確実なものとすることができました。

(2) 製品市場別の状況

・対象製品市場ごとの売上高及び構成比（未監査）（単位：億円）

	当四半期（構成比） 平成16年10-12月	前四半期（構成比） 平成15年10-12月	対前年増減率
サーバ分野	137（24.4%）	60（22.4%）	128.3%
デジタル家電・ モバイル機器分野	185（33.0%）	59（22.0%）	213.6%
プレミアムDRAM ^(注1) 小計	322（57.4%）	119（44.4%）	170.6%
受託ファンダリ等	60（10.7%）	48（17.9%）	25.0%
プレミアムビジネス ^(注2) 小計	382（68.1%）	167（62.3%）	128.7%
PC分野	179（31.9%）	101（37.7%）	77.2%
合計	561（100.0%）	268（100.0%）	109.3%

（注1）プレミアムDRAM：サーバ向け及びデジタル家電・モバイル機器向けに使われるDRAM製品に対する当社での呼称。汎用DRAM製品に比べて、通常、高度の技術力が求められるため、容量あたり単価もこの付加価値分高くなる傾向にある。

（注2）プレミアムビジネス：プレミアムDRAMと受託ファンダリビジネスを合計したものに對する当社での呼称。

(サーバ分野)

サーバ分野向けの売上高は、前年同期比128.3%増(約2.3倍)の137億円となりました。

当期は、DDR2 SDRAMで構成された1Gバイトの大容量モジュール製品を中心として国内外大手サーバメーカーからの需要が順調に増加しました。

(デジタル家電・モバイル機器分野)

デジタル家電・モバイル機器分野の売上高は、前年同期比213.6%増(約3.1倍)の185億円となりました。

当期は、前年同期比ではデジタル家電市場が急拡大したことにより、需要が大幅に増加しました。

なお当分野には、デジタルスチルカメラ、DVDレコーダー並びにデジタルTV等のデジタル家電向け、また第2.5世代及び第3世代の携帯電話向け製品が含まれます。

(受託ファンダリ等)

受託ファンダリ等の売上高は、擬似SRAMを中心とした製造受託量が増加し、前年同期比25.0%増の60億円となりました。

なお受託ファンダリ等には、国内半導体メーカーを主要顧客とした半導体製品の受託ファンダリビジネス(顧客が設計した半導体製品の受託製造)が含まれます。

(PC分野)

PC分野向けの売上高は、前年同期比77.2%増の179億円となりました。

PCの買い替え需要は一巡しつつあるものの、需要は256Mビット品から512Mビット品へ徐々に移行しつつあります。このような市場の動きに対応した結果、当分野の売上高は大幅に増加しました。

(3) 設備投資

今年度累計(9ヶ月通算)の設備投資は、300mm工場第一棟の能力増強と300mm工場第二棟の建設着工により987億円となりました。

財政状態

総資産は、新株発行による増資等により現金及び預金が増加したことにより、中間期末(平成16年9月末)比1,053億円増の4,539億円となりました。有利子負債(リース債務含む)は、中間期末比20億円減少の1,652億円となりました。株主資本は、上場に伴う新株発行と当期純利益の計上により1,091億円増の1,968億円となりました。これにより、株主資本比率は中間期末比18.2ポイント改善し、43.4%となりました。

キャッシュ・フローの状態

当四半期のキャッシュ・フローについては、営業活動に関するキャッシュ・フローは167億円の収入で前年同期比281億円の収入増となりました。

投資活動に関するキャッシュ・フローは、299億円の支出で前年同期比215億円の支出増となりました。これは、主に300mm工場第一棟への設備投資により固定資産の購入が増加したことによるものです。

これにより、営業活動に関するキャッシュ・フローと投資活動に関するキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、132億円の支出で前年同期比67億円の支出増となりました。

また、財務活動に関するキャッシュ・フローは新株発行による増資により1,058億円を調達したことにより前年同期比751億円増加し、1,038億円の収入となりました。

これらの結果、現金及び預金の残高は、前年同期比898億円増の1,647億円となりました。

平成17年3月期 業績見通し

デジタル家電及びモバイル機器向けD R A Mは未だ普及期の初期段階にあり、今後その市場はさらに拡大すると想定されます。しかしながら第4四半期については、デジタル家電における在庫調整の影響が残るとともに、モバイル機器市場の拡大も従来予想より緩やかであると想定されます。

通期の業績見通しは、為替変動等の不安定要因も織り込み、前回予想（11月公表）を修正し、次のとおりといたします。

【通期・連結業績予想】

（単位：億円）

	今回修正 予想(A)	前回予想比	前期実績 (B)	増減率 (A/B)	前期比 (A-B)
売上高	2,110 ~ 2,140	91 ~ 61	1,004	+110% ~ +113%	+1,106 ~ +1,136
営業利益	178 ~ 218	87 ~ 47	(264)	-	+442 ~ +482
経常利益	127 ~ 167	105 ~ 65	(255)	-	+382 ~ +422
当期純利益	120 ~ 160	96 ~ 56	(269)	-	+389 ~ +429

【通期・単独業績予想】

（単位：億円）

	今回修正 予想(A)	前回予想比	前期実績 (B)	増減率 (A/B)	前期比 (A-B)
売上高	1,980 ~ 2,010	91 ~ 61	795	+149% ~ +153%	+1,185 ~ +1,215
営業利益	101 ~ 141	87 ~ 47	(307)	-	+408 ~ +448
経常利益	85 ~ 125	105 ~ 65	(292)	-	+377 ~ +417
当期純利益	94 ~ 134	96 ~ 56	(292)	-	+386 ~ +426

*（注意事項）

当資料に記載の当社（連結子会社を含む）の業績見通しは将来に関する情報であり、これらの将来に関する情報は発表日時点において当社が判断したものであります。これらの将来に関する情報には不確実性が内在しており、設備拡充とそれに引き続く設備過剰、価格下落圧力および業界再編のサイクルに特徴づけられるD R A M市場の全世界における変化、競争の激しいD R A M業界における変化、技術および設計の変化、重要な原材料の供給の不足、中断および価格上昇、重要な顧客の喪失または需要の減少、米ドル・ユーロ等の為替相場の動向、経済一般の状況、当社グループの市場、設備または調達過程を損う地震その他の自然災害、テロ行為、疫病、暴動その他の当社グループのコントロールの及ばない事象等の様々な要因により、将来において生じる当社グループの実際の経営成績等とは一致しない可能性があります。

比較連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期 (平成16年12月31日現在) (未監査)	当中間期 (平成16年9月30日現在)	当中間期比	前 期 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)				
流動資産				
1. 現金及び預金	164,719	74,554	90,165	110,555
2. 受取手形及び売掛金	41,084	39,945	1,139	25,742
3. たな卸資産	29,531	29,536	5	24,437
4. 未収入金	5,883	6,985	1,102	3,861
5. その他	4,313	4,753	440	2,918
貸倒引当金	33	33	0	32
流動資産合計	245,497	155,740	89,757	167,481
固定資産				
1. 有形固定資産	199,011	182,979	16,032	124,282
2. 無形固定資産	7,981	8,314	333	7,057
3. 投資その他の資産	1,449	1,587	138	1,779
固定資産合計	208,441	192,880	15,561	133,118
資産合計	453,938	348,620	105,318	300,599
(負債の部)				
流動負債				
1. 買掛金	31,741	29,323	2,418	24,552
2. 短期借入金	-	-	-	5,674
3. 1年以内返済予定の 長期借入金	13,720	12,829	891	6,216
4. 1年以内返済予定リース 債務	27,954	26,377	1,577	19,239
5. 未払金	50,858	54,804	3,946	60,738
6. その他	7,454	7,306	148	11,494
流動負債合計	131,727	130,639	1,088	127,913
固定負債				
1. 社債	10,000	10,000	-	10,000
2. 長期借入金	65,578	68,583	3,005	36,184
3. リース債務	47,904	49,416	1,512	42,634
4. その他	1,897	2,293	396	2,813
固定負債合計	125,379	130,292	4,913	91,631
負債合計	257,106	260,931	3,825	219,544
(資本の部)				
資本金	87,234	46,625	40,609	46,625
資本剰余金	98,334	33,042	65,292	62,268
利益剰余金	11,430	8,043	3,387	27,686
為替換算調整勘定	166	21	145	152
資本合計	196,832	87,689	109,143	81,055
負債及び資本合計	453,938	348,620	105,318	300,599

比較連結損益計算書(3ヶ月)

(単位 百万円)

区分	当第3四半期 自 平成16年10月1日 至 平成16年12月31日 (未監査)		前第3四半期 自 平成15年10月1日 至 平成15年12月31日 (未監査)		前年同期比
		百分比 (%)		百分比 (%)	増減
売上高	56,136	100.0	26,836	100.0	29,300
売上原価	41,400	73.8	28,802	107.3	12,598
売上総利益(損失)	14,736	26.2	1,966	7.3	16,702
販売費及び一般管理費	9,097	16.2	7,092	26.4	2,005
営業利益(損失)	5,639	10.0	9,058	33.7	14,697
営業外収益					
1.受取利息	29		11		18
2.持分法による投資利益	-		40		(40)
3.為替差益	-		210		(210)
4.その他	9		21		(12)
営業外費用					
1.支払利息	928		242		686
2.為替差損	488		-		488
3.新株発行費	79		-		79
4.社債発行費	-		-		-
5.その他	414		254		160
経常利益(損失)	3,768	6.7	9,272	34.6	13,040
特別利益	2	0.0	7	0.0	5
特別損失	14	0.0	12	0.0	2
税金等調整前 当期純利益(損失)	3,756	6.7	9,277	34.6	13,033
法人税等	369	0.7	481	1.8	112
当期純利益(損失)	3,387	6.0	9,758	36.4	13,145

(注) 法人税等は、法人税等調整額を控除して表示しております。

比較連結損益計算書（9ヶ月通算）

（単位 百万円）

区分	当第3四半期 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日 （未監査）		前第3四半期 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日 （未監査）		前年同期比 増減
		百分比 （%）		百分比 （%）	
売上高	156,298	100.0	68,236	100.0	88,062
売上原価	115,592	74.0	74,565	109.3	41,027
売上総利益（損失）	40,706	26.0	6,329	9.3	47,035
販売費及び一般管理費	26,732	17.1	20,406	29.9	6,326
営業利益（損失）	13,974	8.9	26,735	39.2	40,709
営業外収益					
1. 受取利息	62		16		46
2. 持分法による投資利益	-		107		107
3. 為替差益	-		265		265
4. その他	146		575		429
営業外費用					
1. 支払利息	2,324		355		1,969
2. 為替差損	621		-		621
3. 新株発行費	79		186		107
4. 社債発行費	-		96		96
5. その他	548		285		263
經常利益（損失）	10,610	6.8	26,694	39.1	37,304
特別利益	209	0.1	8	0.0	201
特別損失	27	0.0	64	0.1	37
税金等調整前 当期純利益（損失）	10,792	6.9	26,750	39.2	37,542
法人税等	902	0.6	606	0.9	296
当期純利益（損失）	9,890	6.3	27,356	40.1	37,246

（注）法人税等は、法人税等調整額を控除して表示しております。

比較連結キャッシュ・フロー計算書（3ヶ月）

（単位 百万円）

	当第3四半期 自 平成16年10月1日 至 平成16年12月31日 （未監査）	前第3四半期 自 平成15年10月1日 至 平成15年12月31日 （未監査）	前年同期比 増（減）
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益（損失）	3,756	9,277	13,033
減価償却費及びその他の償却費	10,029	3,940	6,089
貸倒引当金の増加額	-	1	1
受取利息	29	11	18
支払利息	928	242	686
持分法による投資利益	-	40	40
有形固定資産売却益	2	7	5
有形固定資産除売却損	14	11	3
売上債権の増加額	1,908	2,238	330
たな卸資産の増加額	51	169	118
未収入金の増減額（は増加額）	1,049	10,679	11,728
仕入債務の増減額（は減少額）	2,446	465	2,911
未払金の増減額（は減少額）	83	710	793
その他	1,400	8,264	6,864
小計	17,715	11,140	28,855
利息の受取額	29	11	18
利息の支払額	692	242	450
法人税等の支払額	345	57	288
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,707	11,428	28,135
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	29,492	7,167	22,325
有形固定資産の売却による収入	189	45	144
無形固定資産の取得による支出	401	968	567
その他	200	349	149
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,904	8,439	21,465
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減額	4	215	211
長期借入金による収入	-	2,500	2,500
長期借入金返済額	2,114	-	2,114
株式の発行による収入	105,822	8,070	97,752
社債発行による収入	-	96	96
セール・アンド・リースバック取引による収入	6,924	20,202	13,278
リース債務返済額	6,860	1,995	4,865
財務活動によるキャッシュ・フロー	103,768	28,658	75,110
現金及び現金同等物に係る換算差額	406	27	379
現金及び現金同等物の増加額	90,165	8,764	81,401
現金及び現金同等物の期首残高	74,554	66,122	8,432
現金及び現金同等物の期末残高	164,719	74,886	89,833
フリーキャッシュ・フロー（+）	13,198	19,866	6,668

比較連結キャッシュ・フロー計算書（9ヶ月通算）

（単位 百万円）

	当第3四半期 自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日 （未監査）	前第3四半期 自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日 （未監査）	前年同期比 増（減）
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益（損失）	10,792	26,750	37,542
減価償却費及びその他の償却費	24,162	9,105	15,057
貸倒引当金の増加額	-	1	1
受取利息	62	16	46
支払利息	2,324	355	1,969
持分法による投資利益	-	107	107
有形固定資産売却益	2	8	6
有形固定資産除売却損	15	64	49
売上債権の増加額	15,423	10,081	5,342
たな卸資産の増加額	5,094	10,422	5,328
未収入金の増加額	2,022	25,359	23,337
仕入債務の増加額	7,169	26,099	18,930
未払金の増減額（は減少額）	801	738	1,539
その他	5,901	10,459	16,360
小計	16,759	27,400	44,159
利息の受取額	63	16	47
利息の支払額	2,067	348	1,719
法人税等の支払額	831	168	663
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,924	27,900	41,824
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	107,686	18,801	88,885
有形固定資産の売却による収入	189	198	9
無形固定資産の取得による支出	2,733	1,121	1,612
その他	397	449	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	110,627	20,173	90,454
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減額	5,701	10,576	4,875
長期借入金による収入	41,000	14,900	26,100
長期借入金返済額	4,102	-	4,102
株式の発行による収入	105,822	65,351	40,471
社債発行による収入	-	10,000	10,000
セール・アンド・リースバック取引による収入	32,793	42,585	9,792
リース債務返済額	18,753	3,162	15,591
財務活動によるキャッシュ・フロー	151,059	119,098	31,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	192	179	13
現金及び現金同等物の増加額	54,164	70,846	16,682
現金及び現金同等物の期首残高	110,555	4,040	106,515
現金及び現金同等物の期末残高	164,719	74,886	89,833
フリーキャッシュ・フロー（+）	96,703	48,072	48,631

補足資料（未監査）

1. 要約四半期連結損益計算書

（単位 百万円）

区分	第1四半期(3ヶ月) 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日		第2四半期(3ヶ月) 自平成16年7月1日 至平成16年9月30日		第3四半期(3ヶ月) 自平成16年10月1日 至平成16年12月31日	
		百分比 (%)		百分比 (%)		百分比 (%)
売上高	45,536		54,626		56,136	100.0
売上総利益	10,563	23.2	15,407	28.2	14,736	26.2
販売費及び一般管理費	7,476	16.4	10,159	18.6	9,097	16.2
営業利益	3,087	6.8	5,248	9.6	5,639	10.0
税金等調整前 四半期純利益	2,132	4.7	4,904	9.0	3,756	6.7
四半期純利益	2,302	5.1	4,202	7.7	3,387	6.0

2. 経営指標

	前期 (平成16年3月31日現在)	第1四半期 (平成16年6月30日現在)	第2四半期 (平成16年9月30日現在)	第3四半期 (平成16年12月31日現在)
売上債権滞留日数	72日	61日	66日	66日
棚卸資産保有日数	87日	68日	68日	64日
有利子負債残高	1,199億円	1,284億円	1,672億円	1,652億円
ネット D/E レシオ	0.12倍	0.42倍	1.06倍	0.00倍
自己資本比率	27.0%	27.6%	25.2%	43.4%

	前期(12ヶ月) 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	当第1四半期(3ヶ月) 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	当第2四半期(3ヶ月) 自平成16年7月1日 至平成16年9月30日	当第3四半期(3ヶ月) 自平成16年10月1日 至平成16年12月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	312億円	59億円	31億円	167億円
ROA	13.5%	3.1%	5.2%	3.4%
ROE	43.5%	11.2%	19.6%	9.5%

売上債権滞留日数：期末売上債権残高 ÷ 月平均売上高 × 30日

棚卸資産保有日数：期末棚卸資産残高 ÷ 月平均売上原価 × 30日

有利子負債残高：長・短借入金 + 長・短リース債務

ネット D/E レシオ：（有利子負債残高 - 現金及び預金残高） ÷ 株主資本

四半期 ROA（ROE）：各四半期純損益 × 4 ÷ 各四半期の平均総資産（平均株主資本）

通期 ROA（ROE）：通期純損益 ÷ 平均総資産（平均株主資本）

3. 通期見込み前提為替レート

	今回前提
円/US\$	104.00